



※学-Viva：「Viva」は、「生きる」という動詞から生まれた言葉です。三重の「学び場」が生きていくイメージで名付けました。

◆特集◆ 全国学力・学習状況調査 & みえスタディ・チェックの効果的な活用を!!

●●●各校での取組モデル●●●

4月18日

文部科学省へ送付
する前に解答(回答)
用紙をコピー

平成29年度 全国学力・学習状況調査

- ◆ 対象学年：小学校第6学年
中学校第3学年
- ◆ 実施教科：国語、算数・数学

平成29年度 第1回みえスタディ・チェック

- ◆ 対象学年：小学校第4学年
第5学年
- ◆ 実施教科：国語、算数、理科
- ◆ 対象学年：中学校第1学年
第2学年
- ◆ 実施教科：国語、数学、理科

4月24日

25日

全国学力・学習状況調査自校採点研修会

「自校採点→分析→改善」に結び付ける
調査問題を解き、
「解説資料」を参考に採点、分析

採点を通して、教員が学習指導要領を
踏まえた学習内容を理解できる

4月24日(月)
県総合教育センター

4月25日(火)
県四日市庁舎
県伊勢庁舎
県熊野庁舎

いずれも 13:30~16:30

● 自校採点の実施

「教師用解説資料」に従って、
解答類型番号を判断し、採点
解答類型番号を解答用紙の所定の欄に記入

対象学年の担任や
対象教科担当だけでなく...

全教員で
採点を!

各学年の
課題が明確になり
学校全体で共有できる

5月25日

集計結果の提供

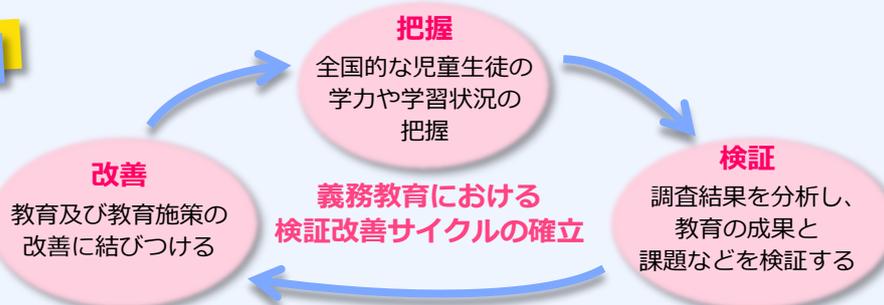
集計結果の報告

より多くの学校・学級での自校採点の取組と、集計結果等の提供をお願いします!

◆ 学校では ◆
一人ひとりの学力の定着状況を把握・分析することができ、個に応じた指導にいかすことができるとともに、授業改善PDCAサイクルの確立が促進されます。

◆ 県では ◆
提供された学校の結果を集計・分析し、分析結果から明らかになった課題に応じたワークシートを早期に配信します。各学校の授業改善や個に応じた指導に活用できます。

調査結果の活用





● 平成 29 年度全国学力・学習状況調査の実施にむけて ●

子どもたちに「やればできる」実感と「達成感」を！！

子どもたちの頑張りが目に見える形で表れるよう、そして力が十分に発揮されるよう、実施体制等を整備・確認し、適切な実施をお願いします。

平成 29 年度

全国学力・学習状況調査 調査マニュアル

第 1 回みえスタディ・チェック 実施マニュアル

平成 29 年度

全国学力・学習状況調査

調査マニュアル【教室監督者用】

熟読！！



&

すべては子どもたちの笑顔のために！！

子どもたちに
伝えて
ください！！

調査（実施）前

- ★ 最後まであきらめずに、がんばって解答すること
- ★ 計算や下書き等は問題用紙に書き込んでもかまわないこと



調査（実施）中の確認

- ★ 問題用紙に解答（回答）を記入している児童生徒がいた場合は、**解答（回答）用紙に記入**するよう指示してください。
- ★ 解答（回答）欄の場所を**間違えずに記入**しているかを確認し、適宜、指示してください。
- ★ 解答をあきらめているような児童生徒には、**できるところから解答を試みる**よう、適宜、指導してください。



力を出し切る指導を！

無解答をなくしましょう！！

★ 4月18日に向けて ★

- 春休みの家庭学習の課題（宿題）は・・・
答え合わせ等をとおしてみえてきた課題がある問題は、**学び直しを！！**
提出された課題（宿題）をチェックし、学習定着状況を把握 → **個に応じた指導を！！**
- 「三重の学-Viva!!セット」第1～6弾は・・・
過去の全国学力・学習状況調査やワークシートを、**授業の教材として活用！！**
- 「三重の学-Viva!!セット」第7弾は・・・
過去の全国学力・学習状況調査や、みえスタディ・チェックで課題がみられた問題は、ワークシートを活用して**習熟の確認を！！**
国語は「漢字」問題 算数・数学は「計算」問題 & 「割合」「比例・反比例」
- 過去の問題やみえスタディ・チェックは・・・
小学生は40分間、中学生は45分間で解く**ペースをつかむ**ために再活用！！

Retry!!

全国学力
・学習状況調査に
対応した
ワークシート集

平成 28 年度 みえスタディ・チェック

第 1 回

- ◆ 4月19日(火)
- ◆ 国語、算数・数学、理科
- ◆ 小学校4年・5年、中学校1年・2年

第 2 回

- ◆ 2月1日(水)
- ◆ 国語、算数・数学
- ◆ 小学校5年、中学校2年



成果 ○
課題 ▲



各教科における 分析総括

● ● 小学校 ● ●

● ● 中学校 ● ●

国語



- 学年別配当表に示されている漢字を正しく読むこと
- ▲ 漢字を書くこと
- ▲ 文の中における主語と述語を正しく捉えること
- ▲ 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと

- 文脈に即して漢字を正しく読むこと

- ▲ 漢字を書くこと
- ▲ 登場人物の心情や場面についての描写を捉えることや複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを書くこと



算数



- 基本的な加法、減法、乗法、除法や四則を計算すること
- 資料を二つの観点から分類整理して表された表を読むこと
- ▲ 引き続き、理由や方法を説明する記述式問題では平均無解答率が高い

- 加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算のきまりにしたがって計算をすること

- ▲ 数量関係(割合等)を文字式に表すことや、反比例についての基本的な知識に関すること
- ▲ 事実・方法・理由の説明を記述することは平均無解答率も高い

理科



- 平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果では、観察・実験の器具に関する「知識」に課題が見られたが、観察・実験の器具の適切な操作技能の「知識」に関する問題において改善が見られる
- ▲ 「地球の領域」(太陽の動き方と影の動き方等)
- ▲ 観察・実験結果を考察して分析し、その特徴を捉えること

- 「エネルギーの領域」(コイルに流れる電流の向きと電磁石の極の関係)や「地球の領域」(天気の変化を推測すること)に改善が見られる

- ▲ 「粒子の領域」の「活用(分析)」に関する問題
- ▲ 「地学的領域」の「活用(分析)」に関する問題



第 2 回みえスタディ・チェック平均正答率および平均無解答率

✿ 小学校 ✿
第 5 学年

	平均正答率	平均無解答率
国語	56.3%	10.0%
算数	47.1%	3.4%

✿ 中学校 ✿
第 2 学年

	平均正答率	平均無解答率
国語	55.8%	7.0%
数学	47.1%	11.3%



全国学力・学習状況調査を活用するための **参**考資料が

文部科学省、国立教育政策研究所の **HP** に掲載されています

❖全国学力・学習状況調査解説資料

調査の実施後、速やかに児童生徒の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることができるように作成されたもの。

❖授業アイデア例

全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえて、授業の改善・充実を図る際の参考となるよう、授業のアイデアの一例を示したもの。

❖全国学力・学習状況調査報告書

各問題について、解答類型と反応率、分析結果と課題、学習指導の改善・充実を図る際のポイントが記述されているもの。



早期の授業改善等に ぜひ活用してください！



❖全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ

平成19～22年度の全国学力・学習状況調査の結果を分析し、とりまとめた資料。

❖全国学力・学習状況調査の結果を活用した実践研究の成果報告書

調査結果から明らかになった課題に対して、教育委員会、学校等が連携しながら学校の教育活動等の改善に取り組んだ実践研究の概略等を掲載した報告書。

❖全国学力・学習状況調査の結果を用いた追加分析

国や教育委員会、学校等の教育活動や、教育施策の一層の改善を図るため、大学等の研究機関の専門的な知見を活用し、高度な分析・検証を行った調査研究の報告書。

❖ 文部科学省 HP http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/ ❖



平成28年度 **ネットDE研修** 新規公開講座のご案内



Let's Click!!



* カテゴリ * 教科指導等 理科

* 講座名 * **すぐに使える
小学校理科基礎実験**



* 講師 * 三重 CST 教員

* ねらい *

理科学習において、科学的な知識や概念の定着を図り、科学的な見方や考え方を育成するには、授業の中で観察、実験を充実させることが重要です。本講座では、教科書に掲載されている基礎実験を紹介し、実験のポイントや、ちょっとした工夫、指導上の留意点、学習指導の中での活用方法等、明日からの授業に役立つ内容について研修します。



映像コンテンツ

- 4年生 「水を温めたときの状態変化」
- 5・6年生 「顕微鏡の使い方」
- 5年生 「もののとけ方」 「水溶液の重さについて考える実験」



教材資料もダウンロードできます！

